

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	広島支部	(2)記載者氏名:	佐々木 弘磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 004
分水嶺区分	W403三坂峠	(3)山行日:	2004年	4月	4日	(4)天候:	

(5)参加者氏名および会員番号

近藤 善則	12489	篠原 千秋	6637	井ノ口 孝臣	13714	三好 勇	13595
吉川 明秀	11368	飛田 彰	9725	岡谷 良信	11966	本片山 数雄	3087
高田 允克	5404	長田 健三	9724	兼森 志郎	11958	松島 宏	13293
串田 孫一		景山 容子	11130	木村 智博	12663	串田 和美	13853
清瀬 祐司	5483	石田 和弘	13664	国枝 忠幹	13570	豊田 和司	12700
谷野 彪	6641	遠藤 栄子	11149	佐々木 弘磨	12693	兼森 路子	12671
吉川 暢一	7034	早本 和佳子	12807	種村 重明	6953	坂本 豊	13850
岩田 淳	10520	角 明男	10617	野間 弘	12662	木村夫人	
計							32名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	山陰・広島支部合同「三坂キックオフ大会」: 三坂峠集合												
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点W403	三坂峠	道後山	133	11	5.10	35	2	26.10	715.0	10:30			
分水嶺離別点													
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):													

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

(9)水および植生に関連した特記事項

(10)その他の特記事項

10:30三坂峠集合、10:45記念写真、11:00道後山「山の家」で近藤氏による「日本中央分水嶺について」記念講演
12:00昼食、13:00懇親交流会(会費2000円/人)、15:00解散
和らいだ雰囲気の中で、両支部会員は分水嶺をつまみに親睦をはかる。これから両支部は東西に別れて、「日本中央分水嶺踏査」を開始することになる。
どんな踏査になるのだろうか。「標高の高くない中国山地が、中央分水嶺踏査にとって一番の難所であることは、逆説的で面白い」と日本の分水嶺の著者、堀公俊氏は述べている。
難所とは勿論、藪漕ぎのこと?、笹の茂る藪山の踏査からどんなドラマから生まれるか。これから楽しみである。W403 R183 708MをW403 三坂

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
W403A : 三坂峠のキックオフ大会
W403B : 道後山山の家で分水嶺記念講演